

◇ 上下水道部

◎ 水道事業会計(上下水道経営課、上下水道営業課、水道工務課、水道維持課)

上下水道経営課、上下水道営業課、水道工務課、水道維持課の4課が置かれており、職員は部長以下62人(うち会計年度任用職員12人)である。このうち、部長以下13人(うち会計年度任用職員2人)は下水道事業を兼務している。

事業の目的は、富士山からの豊富でおいしい水を、安全で信頼される水道水として安定的・持続的に供給し、公衆衛生及び生活環境の維持向上に寄与することである。

1 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

○収入 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	調 定 額	予 算 残 額	執行率
水道事業収益	3,964,000,000	1,522,318,439	2,441,681,561	38.40
営業収益	3,584,486,000	1,469,499,700	2,114,986,300	41.00
営業外収益	379,511,000	52,818,739	326,692,261	13.92
特別利益	3,000	0	3,000	0.00

○支出 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	支出命令額	予 算 残 額	執行率
水道事業費用	3,357,000,000	598,690,010	2,758,309,990	17.83
営業費用	3,239,794,000	598,531,514	2,641,262,486	18.47
営業外費用	112,203,000	158,496	112,044,504	0.14
特別損失	3,000	0	3,000	0.00
予備費	5,000,000	0	5,000,000	0.00

(2) 資本的収入及び支出

○収入 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	調 定 額	予 算 残 額	執行率
資本的収入	1,696,000,000	0	1,696,000,000	0.00
企業債	1,500,000,000	0	1,500,000,000	0.00
補助金	20,402,000	0	20,402,000	0.00
負担金	175,597,000	0	175,597,000	0.00
固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0.00

○支 出

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	支出命令額	予 算 残 額	執行率
資 本 的 支 出	3,375,800,000	25,441,800	3,350,358,200	0.75
建設改良費	2,871,774,000	25,441,800	2,846,332,200	0.89
企業債償還金	501,026,000	0	501,026,000	0.00
予 備 費	3,000,000	0	3,000,000	0.00

2 事務事業の執行状況

(1) 給水の状況

調定件数は266,051件で、前年度同期に比べて1,067件(0.40%)増加しているが、使用水量は11,060,461m³で、前年度同期に比べて131,659m³(1.18%)減少している。近年減少傾向が続いていた使用水量は、前年度は新型コロナウイルスの感染拡大による在宅時間の増に伴い増加したが、本年度はここまで減少しており、依然として水道事業を取り巻く経営環境は厳しいものとなっている。

(2) 水道料金の未収額

8月末日時点における未収額は92,750千円(現年度分64,787千円、過年度分27,963千円)、収入率は93.89%である。未収額は前年度同期に比べ1,960千円(2.07%)減少している。期限内に納付しない者で督促状などの催告に応じない者又は分割納付の誓約不履行者に対し、4月から8月までに延べ2,297戸に給水停止を執行している。

なお、未納件数は延べ23,596件で前年度同期に比べ472件(1.96%)減少している。

(単位：円、%)

区 分	調 定 額	収 入 額	未 収 額	収入率	
現年度水道料金	1,420,339,200	1,355,552,864	64,786,336	95.44	
過年度水道料金	96,565,826	68,602,624	27,963,202	71.04	
過 年 度 内 訳	令和2年度	75,691,603	67,425,372	8,266,231	89.08
	令和元年度	7,092,184	747,167	6,345,017	10.54
	平成30年度	5,470,250	308,781	5,161,469	5.64
	平成29年度	4,489,129	56,576	4,432,553	1.26
	平成28年度	3,822,660	64,728	3,757,932	1.69
合 計	1,516,905,026	1,424,155,488	92,749,538	93.89	

(3) 水道料金納付

8月末日時点における水道料金の現年度分調定件数266,051件のうち口座振替調定件数は204,835件で76.99%、自主納付調定件数は61,216件で23.01%となっている。

現年度及び過年度分収納件数265,539件のうちコンビニエンスストア及びスマートフ

オン決済による収納件数は50,693件で利用率は19.09%となっている。

また、納入通知の発送、督促、滞納整理などの徴収及び還付業務を民間委託している。

(4) 建設改良事業

8月末日時点における建設改良事業の工事契約状況及び支出状況は、以下のとおりである。

ア 水道施設整備事業(水源・配水管の新設、管網整備等)

県道富士清水線配水管布設工事ほか5件で、配水管布設総延長405.8m、契約金額28,284千円で、このうち、平垣松本線配水管布設工事は、工事が完了し、440千円を支出している。

イ 簡易水道統合整備事業(簡易水道統合に伴う配水管布設等)

神谷4号水源地さく井工事ほか1件で、契約金額36,498千円となっている。

ウ 配水設備等改良事業(配水管路や水道諸施設の耐震化・維持保全、老朽管布設替等)

田子浦伝法線ほか(国道1号横断)配水管布設替工事ほか29件で、配水管布設総延長10,669.9m、契約金額1,519,773千円となっている。

エ 新富士駅南地区土地区画整理配水管整備事業(新富士駅南地区土地区画整理地内の配水管布設等)

新富士駅南地区土地区画整理内R3 6-21号線ほか配水管移設工事ほか2件で、配水管布設総延長617.4m、契約金額40,053千円となっている。

オ 第二東名 I C 周辺地区土地区画整理配水管整備事業(第二東名 I C 周辺地区土地区画整理地内の配水管布設等)

第二東名 I C 周辺地区土地区画整理内末広南北線(南工区)配水管移設工事ほか2件で、配水管布設総延長169.1m、契約金額10,471千円となっている。

◎ 公共下水道事業会計(上下水道経営課、上下水道営業課、下水道建設課、
下水道施設維持課)

上下水道経営課、上下水道営業課、下水道建設課、下水道施設維持課の4課が置かれており、職員は部長以下58人(うち会計年度任用職員5人)である。このうち、部長以下13人(うち会計年度任用職員2人)は水道事業を兼務している。

事業の目的は、汚水を適正に処理するとともに、雨水を排除し、もって生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全に寄与することである。

1 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

○収入 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	調 定 額	予 算 残 額	執行率
下水道事業収益	6,215,000,000	1,543,205,604	4,671,794,396	24.83
営業収益	3,064,494,000	1,266,543,923	1,797,950,077	41.33
営業外収益	3,150,504,000	276,661,681	2,873,842,319	8.78
特別利益	2,000	0	2,000	0.00

○支出 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	支出命令額	予 算 残 額	執行率
下水道事業費用	5,153,000,000	697,868,003	4,455,131,997	13.54
営業費用	4,688,071,000	697,738,060	3,990,332,940	14.88
営業外費用	459,927,000	129,943	459,797,057	0.03
特別損失	2,000	0	2,000	0.00
予備費	5,000,000	0	5,000,000	0.00

(2) 資本的収入及び支出

○収入 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	調 定 額	予 算 残 額	執行率
資本的収入	2,187,335,000	51,629,420	2,135,705,580	2.36
企業債	1,353,100,000	0	1,353,100,000	0.00
出資金	31,292,000	0	31,292,000	0.00
補助金	741,990,000	0	741,990,000	0.00
負担金	57,758,000	46,077,430	11,680,570	79.78
分担金	3,194,000	5,551,990	△2,357,990	173.83
固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0.00

○支 出

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	支出命令額	予 算 残 額	執行率
資 本 的 支 出	5,124,325,000	461,364,975	4,662,960,025	9.00
建設改良費	2,755,437,000	461,364,975	2,294,072,025	16.74
企業債償還金	2,365,888,000	0	2,365,888,000	0.00
予 備 費	3,000,000	0	3,000,000	0.00

2 事務事業の執行状況

(1) 汚水処理の状況

調定件数は199,024件で、前年度同期に比べて2,523件(1.28%)増加しているが、排除汚水量は8,390,830m³で、前年度同期に比べて58,382m³(0.69%)減少している。

(2) 下水道使用料の未納額

8月末日時点における収納率は92.74%で、未納額は103,471千円(現年度分61,425千円、過年度分42,046千円)、前年度同期に比べ2,325千円(2.20%)減少している。

なお、未納件数も延べ21,910件で前年度同期に比べ238件(1.07%)減少している。

(単位：円、%)

区 分	調 定 額	収 入 額	未 納 額	収納率	
現年度下水道使用料	1,266,473,923	1,205,049,251	61,424,672	95.15	
過年度下水道使用料	158,156,330	116,110,327	42,046,003	73.41	
過 年 度 内 訳	令和2年度	126,136,816	114,025,146	12,111,670	90.40
	令和元年度	10,810,898	1,156,823	9,654,075	10.70
	平成30年度	8,463,337	582,331	7,881,006	6.88
	平成29年度	6,458,298	176,484	6,281,814	2.73
	平成28年度	6,286,981	169,543	6,117,438	2.70
合 計	1,424,630,253	1,321,159,578	103,470,675	92.74	

※ 収入額には、水道事業及び中里西簡易水道組合預り分を含む。

(3) 建設改良事業

8月末日時点における建設改良事業の工事契約状況及び支出状況は、以下のとおりである。

ア 下水道管路整備事業(下水道管路新設、取付管・公共柵設置等)

令和3年度天間北2025号線ほか管路新設工事ほか42件で、管路布設延長6,225m、契約金額1,384,198千円となっており、このうち362,564千円を支出している。

また、取付管・公共柵設置工事が73件で、契約金額50,749千円となっており、この

うち48,004千円を支出している。

イ 下水道管路改良事業（下水道管更生、布設替等）

江尾中継マンホールポンプ場ポンプ取替工事ほか1件で、契約金額2,332千円となっている。

ウ 処理場改良事業（処理場施設の維持保全等）

富士市西部浄化センター水処理棟4系スカムポンプ取替工事ほか3件で、契約金額11,460千円となっている。

◎ 生活排水対策課

職員は課長以下11人(うち会計年度任用職員5人)である。

事務の分掌は、クリーンセンターききょう(し尿処理施設)及び中野台下水処理施設の維持管理並びに浄化槽の補助金交付及び機能維持のための指導などに関するものである。

1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対 予 算 執 行 率
歳 入	121,507,000	13,901,943	107,605,057	11.44
歳 出	715,164,000	508,231,601	206,932,399	71.07

歳入は予算現額121,507千円に対し、調定額14,415千円、収入済額13,902千円で執行率11.44%となっている。収入未済額の主なものは、国庫補助金及び市債である。

歳出については、予算現額715,164千円に対し、支出負担行為額508,232千円で執行率71.07%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 浄化槽設置助成事業

富士市生活排水処理長期計画で定めた区域で、し尿と生活雑排水を併せて処理する浄化槽を設置する者に対し、国庫補助指針に基づき補助を行っており、8月末日時点で、5人槽56基、7人槽8基に合せて47,513千円を支出している。

(2) 浄化槽維持管理助成事業

浄化槽法に基づく適正な維持管理を推進するため、法定検査に合格した浄化槽及び浄化槽区域において管理組合が管理する集中浄化槽に対して補助を行っており、8月末日時点で、浄化槽に関する補助で1,700件、30,600千円、集中浄化槽に関する補助で3件、1,371千円を支出している。

(3) クリーンセンターききょう及び中野台下水処理施設管理運転業務

クリーンセンターききょうの管理運転業務は包括的民間委託をしており、本年度は274,659千円の支出を予定している。また、計装設備改修工事及び硝化脱窒素槽攪拌ポンプ吐出弁更新工事に着手し、契約金額25,630千円となっている。

中野台下水処理施設の管理運転業務は包括的民間委託をしており、本年度は13,640千円の支出を予定している。また、流入水流量計取替工事など8件の維持修繕工事に着手し、契約金額10,399千円となっている。